

新野洲クリーンセンターの建築工事にかかる景観について

1. 施設の概要

- (1) 建設用地所在 野洲市大篠原 3333-10 の一部、3334 及び 3335
- (2) 事業用地面積 3.15ha (うち風致地区内 1.68 ha、風致地区外 1.47 ha)
- (3) 施設用地面積 1.42ha
- (4) 土地利用にかかる主な法規制等
砂防法に基づく砂防指定地、森林法に基づく地域森林計画対象区有林、三上風致地区(一部)等

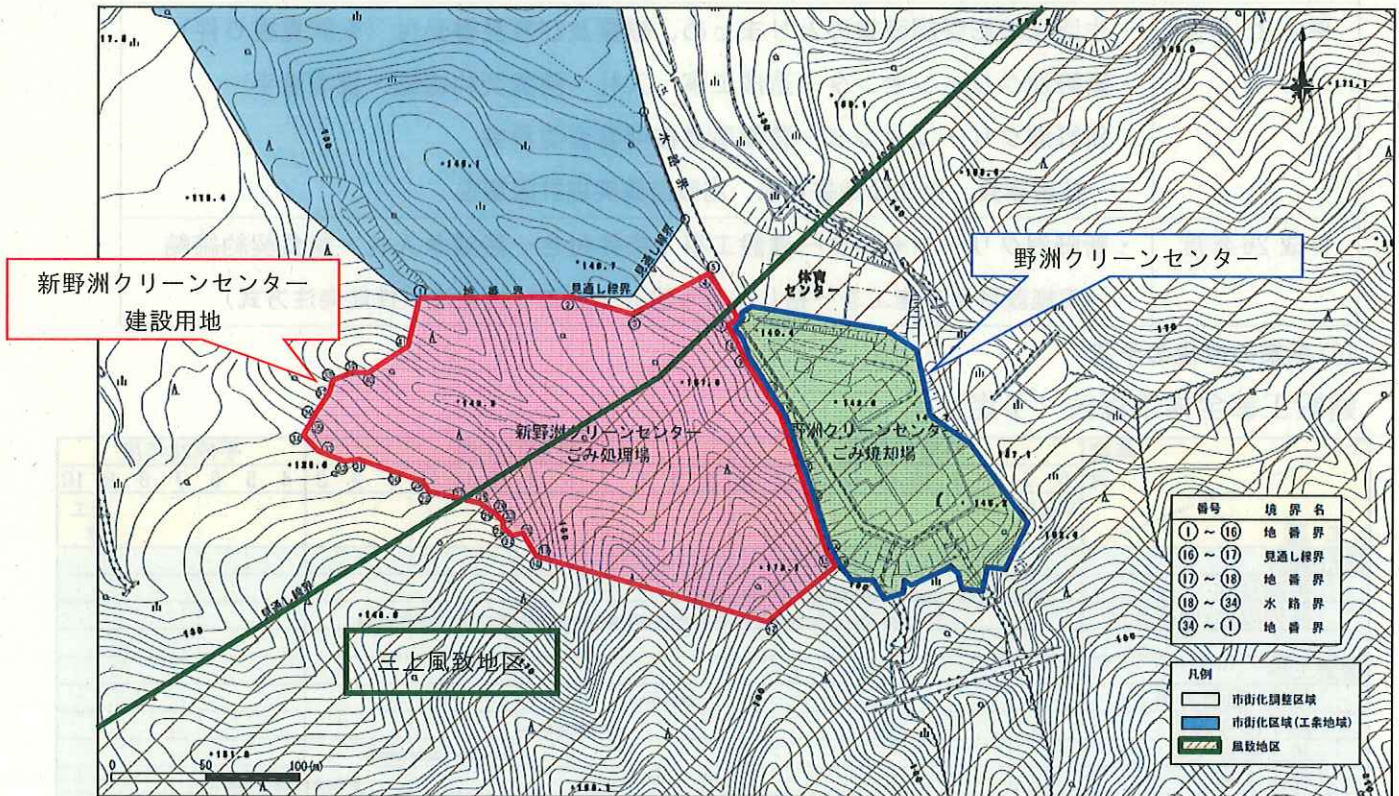
(5) 施設規模等

① 熱回収施設

施設規模 43t/日 (21.5t/24h×2 炉)
 ※建物高さ約 20m (4 階)、煙突高さ 50m
 処理対象 燃えるごみ、破碎可燃ごみ、災害ごみ
 焼却方式 ストーカ式 (高温低空気比燃焼)

② リサイクルセンター

施設規模 8t/日 (破碎・資源化)
 ※建物高さ約 19m (地下階+2 階)
 処理対象 燃えないごみ、粗大ごみ、ペットボトル



2. 新野洲クリーンセンター整備事業の経過について

(1) 事業の目的

野洲市の一般廃棄物中間処理施設である野洲クリーンセンターは、昭和 57 年 4 月に稼動を開始し、焼却処理施設、粗大ごみ処理施設及び資源化施設を備え、市内の一般廃棄物を処理しているが、施設老朽化が著しい状況にあるため、ごみの適正処理や資源化の推進に加え、熱エネルギーを回収し、循環型社会の形成を推進するため、新野洲クリーンセンターを建設する整備事業です。

(2) 事業の主な経過

年度	事業、計画、会議名等
平成 20 年度	・野洲クリーンセンター精密機能検査 →平成 27 年度が現センターの焼却施設の耐用年数の限界であることを報告
平成 22 年度	・野洲市一般廃棄物適正処理システム検討委員会、施設基本構想策定 ・プラスチック・リサイクルのあり方市民懇談会開催
平成 23 年度	・野洲市廃棄物減量等推進審議会（野洲市一般廃棄物処理基本計画見直し諮問） ・野洲市一般廃棄物処理基本計画見直し ・新野洲クリーンセンター施設整備基本計画策定
平成 24 年度	・新野洲クリーンセンターの建設に係る生活環境影響調査（通年調査～25 年 5 月）→計画施設周辺の生活環境に及ぼす影響について明らかにし、必要な保全対策を施設整備計画に反映させることを目的に実施
平成 25 年度	・生活環境影響調査書のとりまとめ、縦覧及び意見書受付（※意見書 0 件） ・新野洲クリーンセンター造成工事 入札・請負契約締結・現場着手 ・新野洲クリーンセンター整備事業技術審査委員会 →技術審査、発注仕様書作成、施設整備実施計画策定
平成 26 年度	・新野洲クリーンセンター建設工事：条件付き一般競争入札・請負契約締結 →実施設計及び施工を一括して行う設計・施工一括発注（性能発注方式）

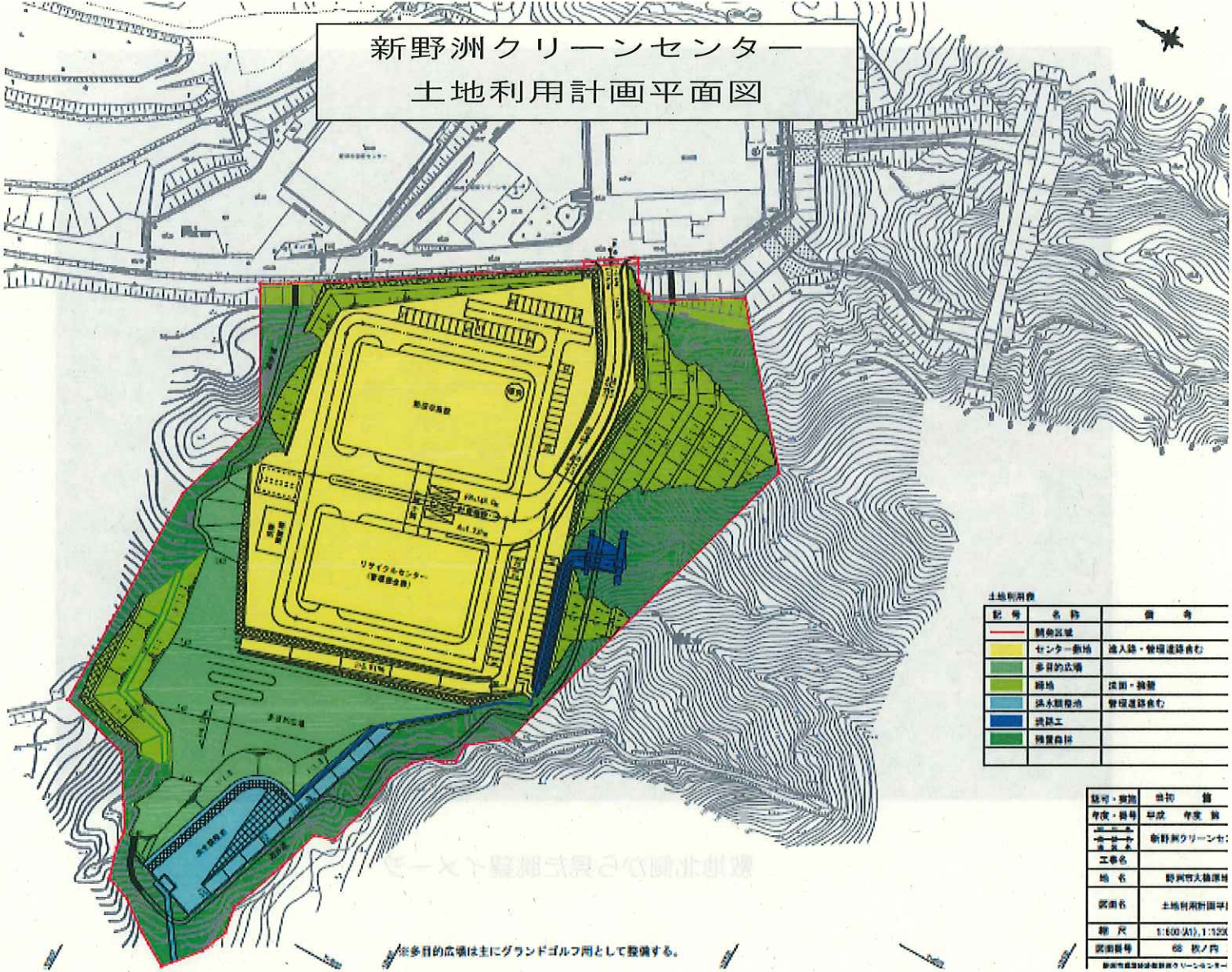
(3) 事業の今後の予定

建設工事全体工程表（予定）

工 種	年度	平成26年度												平成27年度												平成28年度									
	月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
設計業務		本契約 ▼																														竣工 ▼			
実施設計		[Bar chart showing duration]																																	
詳細設計・図書作成		[Bar chart showing duration]																																	
建築工事		[Bar chart showing duration]																																	
地業・掘削工事		[Bar chart showing duration]																																	
地下躯体工事		[Bar chart showing duration]																																	
地上躯体工事		[Bar chart showing duration]																																	
仕上工事		[Bar chart showing duration]																																	
電気・設備工事		[Bar chart showing duration]																																	
機械設備工事		[Bar chart showing duration]																																	
機器据付工事		[Bar chart showing duration]																																	
電気・計装・配管工事		[Bar chart showing duration]																																	
試運転		[Bar chart showing duration]																																	

図1-2-1 新野洲クリーンセンターの土地利用計画

新野洲クリーンセンター
土地利用計画平面図



土地利用表

記号	名称	備考
(赤線)	境界線	
(黄色)	センター敷地	進入路・管理道路含む
(緑)	多目的広場	
(黄緑)	緑地	遊歩・遊憩
(水色)	湧水調整池	管理道路含む
(青)	調整工	
(濃緑)	調整池	

認可・審判 年度・番号	案内 年度	備考
2001-001	2001	
工事名	新野洲クリーンセ	
地名	新野洲八幡原村	
図面名	土地利用計画図	
縮尺	1:600 (A1), 1:325	
図面番号	08 表/内	

※多目的広場は主にグランドゴルフ用として整備する。

新野洲クリーンセンターイメージ図



敷地北側から見た眺望イメージ

環境の保全のための措置

「新クリーセンター建設に係る生活環境影響調査書

2) 環境の保全のための措置 (1) 土地又は工作物の存在及び供用 ① 主要眺望点からの視認状況」の各事項について、下表のとおり対策します。

各事項	新野洲クリーセンターの建築工事における計画	チェック
<p>周辺環境に配慮し、親近感のある建物とし、すっきりとした形態及び意匠とする。</p>	<p>敷地の南北境界の中央付近にバランスよく配置します。 リサイクルセンター棟は琵琶湖方向からの眺望を配慮し、また市民活動に使用することから、曲面の屋根とすることで威圧感および圧迫感を軽減し、工場のイメージを消すように努めます。</p>	○
<p>建屋形状は簡素かつ明快な形を基本とし、機能を損なわないようにするとともに、施工難度の高い外部仕上材は避け、厳しい条件下におかれる外壁、建具等は十分な維持管理を行うことで、長期にわたって竣工時の美観が保持できるように計画する。</p>	<p>外装材の下部には鉄筋コンクリート・軽量気泡コンクリート製パネルを、仕上げには複層仕上塗装材料を用います。</p>	○
<p>色彩は、げばげばしいものとせず、できるだけ落ち着いた色彩で周辺環境との調和を図る。</p>	<p>圧迫感を和らげる比較的明度の高い色彩を壁面に採用します。さらに屋根面は落ち着いた印象を受けるようにします。 [マンセル近似値] 外壁の基調色: 10YR 8.5/2 屋根の基調色: 5.5YR 2.6/1.1</p>	○
<p>事業予定地は、地域森林計画対象区域、三上風致地区に位置し、開発区域には樹林地が多いことに配慮し敷地内森林の残存保全に努める。</p>	<p>敷地の面積の6,410㎡を残地森林とします。</p>	○
<p>周辺に与える威圧感及び突出感を軽減するため、施設は敷地境界線からできるだけ離れた位置に配置する。</p>	<p>道路側の敷地境界線から約23m後退します。</p>	○
<p>野州市景観計画に定める景観形成基準(一般地区)を遵守する。</p>	<p>別紙のように計画します。</p>	○